

## 気象情報に注意

これから季節は、前線や大気不安定により突然の強風、大雨となる場合があります。また直接の影響はなくても、日本周辺の台風の動きにも注意が必要です。大雨や強風に対し、工事現場の安全を確保するとともに、第3者への被害拡大防止のため、注意報・警報の発令情報だけでなく、気象情報全般に注意を払い、事前の対策を十分にとっておきましょう。

### 強風に対する備え

- ① **保安施設に注意** カラーコーンや看板などが転倒・飛散し接触の危険があります。重りやロープでくくりつけ飛ばないようにしましょう。
- ② **高所に注意** 地上では風が弱くても、高所では強風の場合があります。安全帯を確実につけて作業しましょう。
- ③ **火花に注意** 溶接時の火花が風に乗って飛散し火災の原因になります。
- ④ **クレーンに注意** 風圧を大きく受けるので、転倒の可能性があります。しっかり固定しましょう。
- ⑤ **湾岸・河川に注意** 強風により資機材が流出する可能性があります。強風が予想される場合は安全な場所に資機材を移動させましょう。
- ⑥ **強風の後に注意** 足場等にズレや傾きが生じる恐れがあります。しっかりと確認しましょう。
- ⑦ **点検は複数で** 点検途中で事故にあった場合、単独では連絡が取れません。



### 大雨に対する備え

- ① **排水設備の点検を** ゲリラ豪雨等では排水設備の許容量を超える恐れがあります。またゴミ等の堆積により本来の機能が発揮できない場合があります。
- ② **穴・段差の点検を** 降雨により、バイクや自動車の事故の原因になります。
- ③ **濡れた通路に注意** 濡れた覆工板は滑りやすくなります。手すりや保護具をつけて作業しましょう。
- ④ **緩んだ斜面に注意** 切土法面、盛土等は降雨で崩れやすくなります。危険箇所がないか点検しましょう。
- ⑤ **機械の設置場所に注意** 地盤の緩みで機械が転倒する危険があります。地盤がしっかりとした場所に設置しましょう。また河川の増水の可能性がある場合には、資機材を高所へ移動させましょう。
- ⑥ **河川の増水に注意** 増水により資機材が流出する可能性があります。大雨が予想される場合は安全な場所に資機材を移動させましょう。
- ⑦ **大雨の後は点検を** 地盤の緩みで崩落、陥没等思わぬ危険があります。
- ⑧ **点検巡視は複数で** 点検途中で事故に遭った場合、単独では連絡が取れません。

#### <警報解除後の点検>

労働安全衛生法では、大雨等、悪天候後に再び作業を開始する際の設備等の点検を義務付けています。

- ① 現場巡視点検（点検は複数で行いましょう）
- ② 足場等における作業では作業点検表による点検を行いましょう。
- ③ 不良箇所には補修・補強をしておきましょう。

※被害・異常を確認したときは、工事監督員（発注者）に速やかに報告を行ってください。



# 除草作業による飛び石事故発生！

【事例1】堤防法面除草作業の翌日に民家の窓ガラスの割れたと出張所に連絡があった。

作業は除草作業員1名、飛石防止ネット2名の体制で行っていた。

原因については調査中



飛び石防止ネット

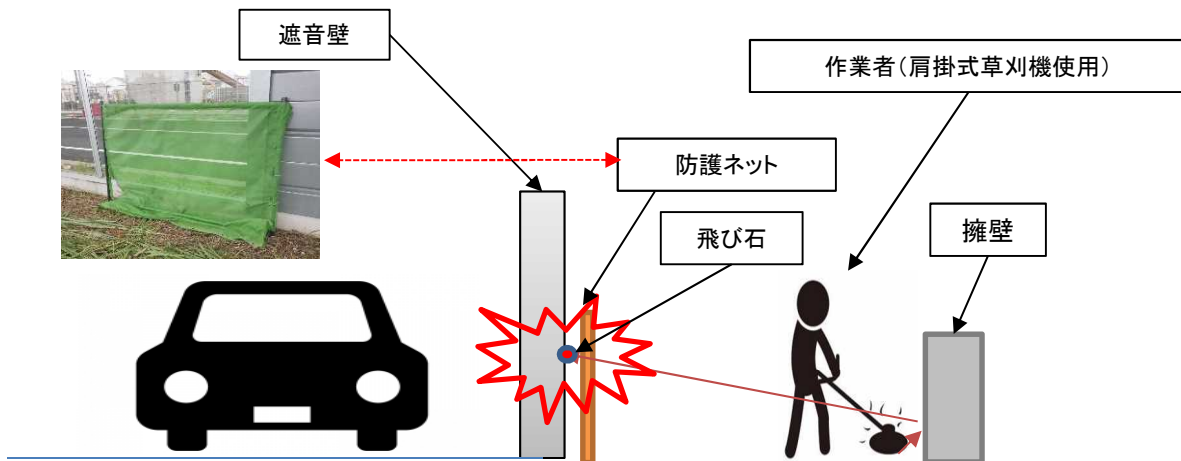


窓ガラスの割れ



重点：除草作業

【事例2】道路維持の除草作業（肩掛式草刈り機）で、遮音壁周辺を草刈り中、小石を飛ばし遮音壁（透明板）にひび割れが入ってしまった。予め遮音壁に飛び石があることを想定し防護ネットを用いて作業していたにも拘わらず、刈り刃で飛ばされた小石が作業正面の擁壁に当たって跳ね返り、作業車背面側にあった遮音壁に当たり、ひび割れが入ってしまった。



除草作業における事故防止については、平成30年5月（あんぜん第285号）に掲載しております。

予期せぬ方向に飛び石が飛ぶ事故が増えています。防護ネットの大きさ・種類などを適切に選定しましょう。また草刈者と防護ネット支持者の距離と飛散角度に留意し、適切に保ちましょう。

飛び石については車両や家屋への影響だけでなく、走行車両への影響により人命にも関わる場合もあります。事故防止対策を確実に実施し、事故発生を防止しましょう。

